

# 乾燥椎茸の 日本産椎茸生産量と中国 産椎茸輸入実績（平成22年度）

## 中国産乾燥椎茸の輸入量

5530トン（財務省輸入統計）

## 国産乾燥椎茸生産量

3516トン（林野庁統計）

大分県1400トン

宮崎県 590トン

熊本県 233トン

山梨県 11トン



## シイタケの栽培方法には、

クヌギやコナラの原木を使い、林内や簡易な温室できのこを育てる「原木栽培」と広葉樹のおがくずにフスマ等の栄養源を加えた培地を使い、温度、湿度の管理できる空調施設できのこを育てる「菌床栽培」があります。作業の機械化がしやすく、気象条件などにあまり影響を受けない菌床栽培は、原木の入手難や後継者不足等によって生産が落ち込む傾向にある原木栽培とは反対に年々生産量が増え、輸入品を含めるとすでに国内で消費されている生シイタケの80%以上を占めています。乾シイタケは、菌床栽培では良いものができないので、国内産の多くは、原木栽培で作られています。

## 美味しいくて、安全で、山梨県産にこだわった椎茸を作りました

### 八坂とは

NHKの美しい日本の秘境シリーズでも山梨県身延町一色のホタルが取り上げられてるような、人里離れた自然そのもの、俗世からかけ離れたところだ

（山梨県の公式資料の引用）

南巨摩郡身延町八坂は元々一条忠頼に使えた今福家が代々住んでいた疎村であった。今福淨閑の孫、善九郎と市左衛門のうち、善九郎が村を治め、市左衛門は武田家に仕えたものの、武田滅亡に際して村に戻ってきているらしい。その後は現代にいたるまで、主に林業や、八坂金山神社関連の工芸品などを作って生活している。

### 放射線測定結果

放射性セシウム(検出下限値2Bq)

「すべての検査項目で不検出」

試験成績書

試験番号 YI-1204009 号  
平成24年5月2日

依頼者 今福 太喜男 様

检测項目：放射性セシウム

検査場所：山梨県身延町八坂地内山林

採取日：平成24年4月22日 時間：0時

採取者：今福太喜男 様

検査法：山梨県小山川林生セシウム検査法(平成21年3月 厚生労働省食品安全委員会規定) 規定期間：平成24年4月27日 検査試験数：140% 4g

検査結果：可(平成24年4月27日 検査試験数：140% 4g)

参考：1. 検定結果は検査判定の結果です。  
2. 検査結果欄に「不検出」と表示されている数値は検出下限値を示します。  
3. 分析は、検査機関セシウム検査センターにて実施しました。



「地産地消」とはその生産地で取れたものはその生産地で消費しましょうの意味ですが、弊社の「知産知消」は生産地の歴史や風土、文化を知りましょう。そして消費の仕方（作り方）を知りましょう、と考えます。



今福さんご自宅の倉庫には「武田菱」があった。武田信玄の落ち武者の来たところと話していた



生産者 今福太喜男さん

常住は自分と大家さん2軒あと3軒は盆と正月に来るのみと言う。

1年に2回の収穫しかございません。数量に限りがございますので、欠品する場合には、ご理解を賜りたく、お願い申し上げます

電話番号 055-273-4561

甲信食糧株式会社